アニコムグループ

中期経営計画

2025-2027

2025.5.9

証券コード：8715

目次

1 中期経営計画2022-2024の振り返り

2 中期経営計画2025-2027のポイント

3 中期経営計画2025-2027の具体的目標

4 APPENDIX

1 中期経営計画2022-2024の振り返り

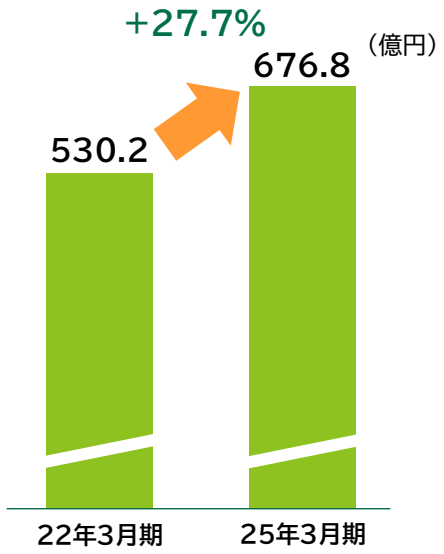
1. 定量面
2. 定性面
3. サステナビリティ

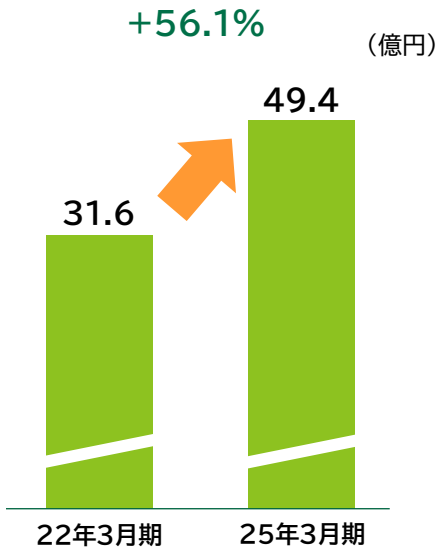
1. 定量面

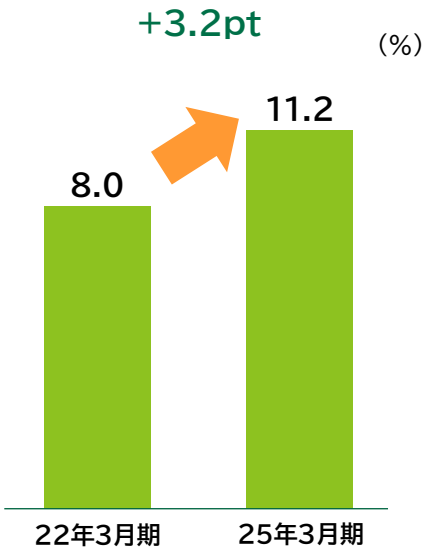
●主要経営数値目標(連結)

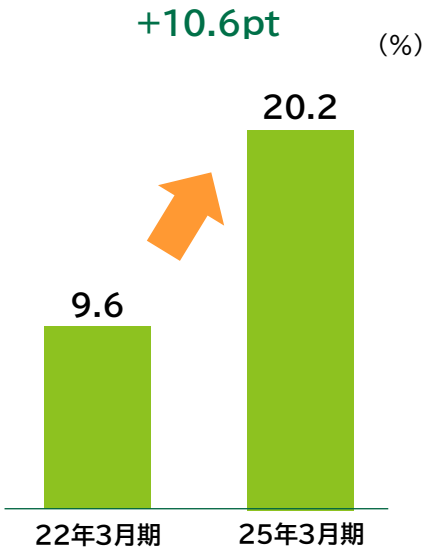
規模と収益のバランスを重視し、着実に計画を達成

事業規模の拡大	持続的利益成長	資本効率の向上	株主への還元
連結経常収益	連結経常利益	連結ROE	配当性向
計画 650~700億円	計画 45~50億円	計画 10%水準	計画 20%水準









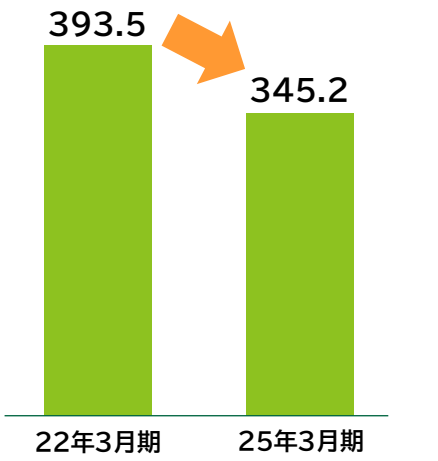
Copyright © Anicom Holdings,Inc. All Rights Reserved

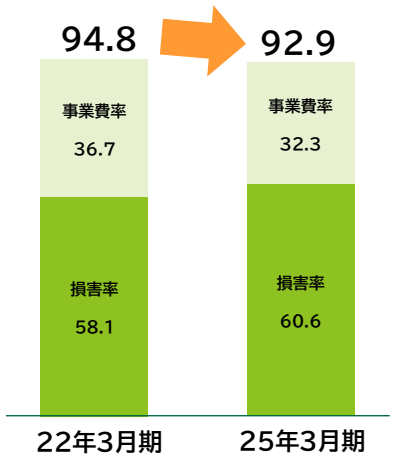
1. 定量面

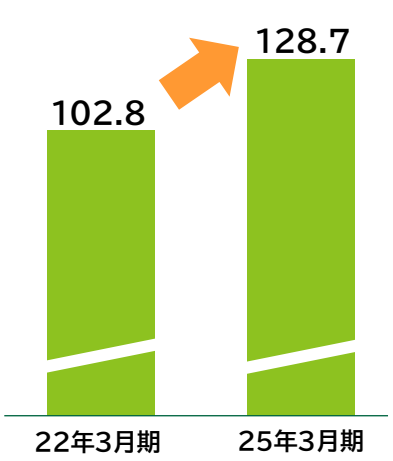
●主要KPI目標および経営パラメータ(保険事業)

保険会社としてのKPIを適正水準に保ちつつ、事業基盤を安定的に拡大

健全性の維持	適正な利益水準	順調な契約獲得	契約基盤の安定
損保単体SMR (ソルベンシー・マージン比率)	コンバインド・レシオ (既経過保険料ベース)	保有契約数	継続率
計画 300~320%	計画 93~94% 事業費率 35~36% 損害率 58~59%		
△48.3pt (%)	△1.9pt (%)	+25.9万件 (万件)	+0.4pt (%)







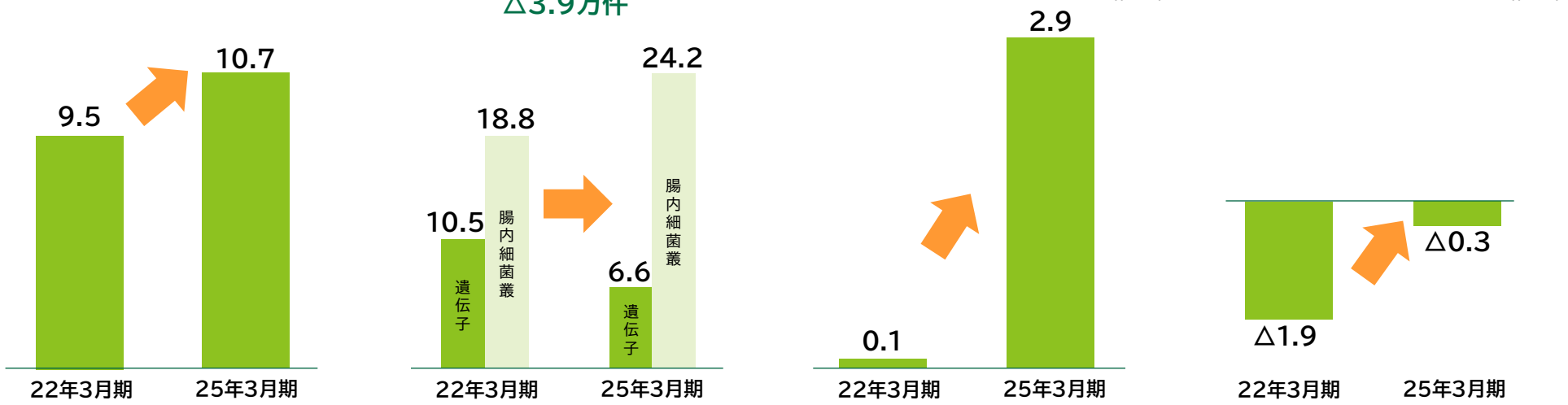
Copyright © Anicom Holdings,Inc. All Rights Reserved

1. 定量面

●主要KPI目標(シナジー創出事業)

予防型保険実現に資するインフラ構築と経営基盤強化のため、事業投資と収益改善を推進

	保険事業以外の事業比率の拡大	データの活用	健康ケア商材の販売	獣医療の収益化
	連結売上比率	検査事業	健康イノベーション事業	動物病院事業
計画	12%水準	腸内細菌叢検査申込数　20~25万件 遺伝子検査検体数　12~15万件	売上8~10億円	のれん償却後黒字化
	+1.2pt	+5.4万件 △3.9万件	+2.8億円	+1.6億円



Copyright © Anicom Holdings,Inc. All Rights Reserved

2. 定性面

●事業別重点施策（保険事業）

事業環境および競争環境の変化に柔軟に対応した戦略を推進

販売チャネルの拡大・強化

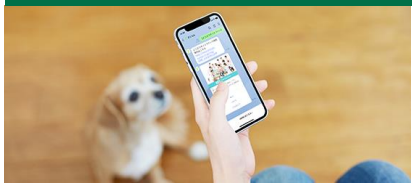
国内生保・損保との提携販売を拡大

商品の適正化

どうぶつ健保ふぁみりぃワイドタイプの保険料改定

商品・サービスの拡大

オンライン保険金請求やLINE請求のサービス開始



ブランド価値の向上

グッドデザイン賞を受賞

●事業別重点施策（シナジー創出事業）

川上から川下までどうぶつのライフステージに寄り添った事業展開

ブリーディングサポートの強化

ブリーダー向けの各種サービスを拡大展開

マッチングサービス事業の強化

累計成約数30万件を突破

口腔・腸内ケア商材の開発

「どうぶつ健活」を通じた新たな商材の開発と販売を開始

再生医療事業の推進

幹細胞投与によるQOL改善を推進

Copyright © Anicom Holdings,Inc. All Rights Reserved

3. サステナビリティ

●指標・目標に対する進捗状況

経済的価値と社会的価値を創造するサステナビリティ経営に向けた取り組みを推進

	項目※1	実績				目標
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2030年度
人への貢献	従業員に占める女性割合	61.2%	60.9%	61.4%	63.8%	50～60%
	管理職に占める女性割合※2	31.8%	31.2%	33.7%	36.5%	50～60%
	男性育休取得率	58.8%	77.8%	68.0%	69.0%	100%
	女性育休取得率	100.0%	96.0%	100.0%	100.0%	100%
	有給取得率※3	62.7%	64.6%	75.0%	62.6%	80%
	自発的離職率※4	12.3%	11.8%	13.4%	14.9%	10%
	研修費用（企業総額）	12,350,455円	12,784,247円	14,137,183円	15,757,720円	—
	研修費用（1人当たり平均）	14,581円	14,364円	16,119円	16,178円	15,000円
	発明者数	51名 （累計66名）	37名 （累計103名）	24名 （累計127名）	17名 （累計144名）	年間60名
	高齢者・障がい者・子ども ふれあいイベント	—	—	3回	3回	20回
	こども教育サポート （動物病院体験等参加人数）	—	—	12名	16名	100名
どうぶつへの貢献	hugU譲渡件数	2,377件	3,200件	3,701件	4,910件	—
	譲渡会支援回数	14回	22回	19回	17回	—
	保護犬猫譲渡頭数※5	—	18頭	74頭	69頭	—
環境への貢献	Scope1+2 GHG排出量※6 （単位:t-CO2）	1,050	1,225	271	180	0

※1 算定対象は当社及び連結子会社（2022年度以前の有給取得率を除く）　※2 管理職の定義は「部下を持つ職務以上の者、並びに部下を持たなくともそれと同等の地位にある者」で「役員」を除く
※3 2022年度以前の株式会社シムネットを除く　※4 定年退職等を除く自己都合による退職　※5 2022年度は「ani TERRACE」のみの譲渡頭数、2023年度以降は譲渡会支援での譲渡頭数を含む
※6 2023年度及び2024年度（暫定値を含む）はScope2において再エネ分を控除後の排出量を記載

Copyright © Anicom Holdings,Inc. All Rights Reserved

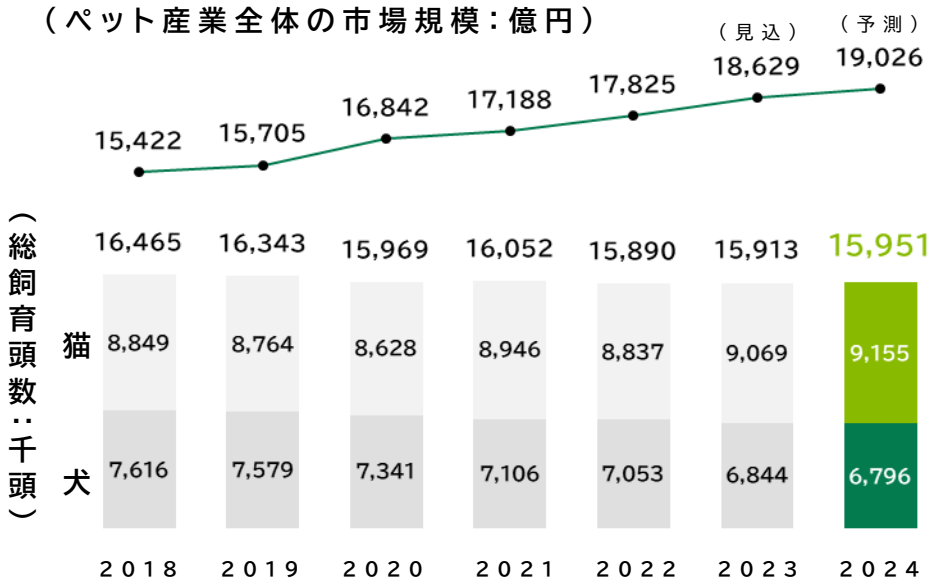
2 中期経営計画2025-2027のポイント

1. 市場環境
2. 第二期創業期の位置付けと
   2030年度ビジョン
3. 保険会社における経営の健全性を
   脅かす主要なリスク
4. 主要なリスクへの対応策（総論）
5. 主要なリスクへの対応策（各論）
6. サステナビリティ経営の実現

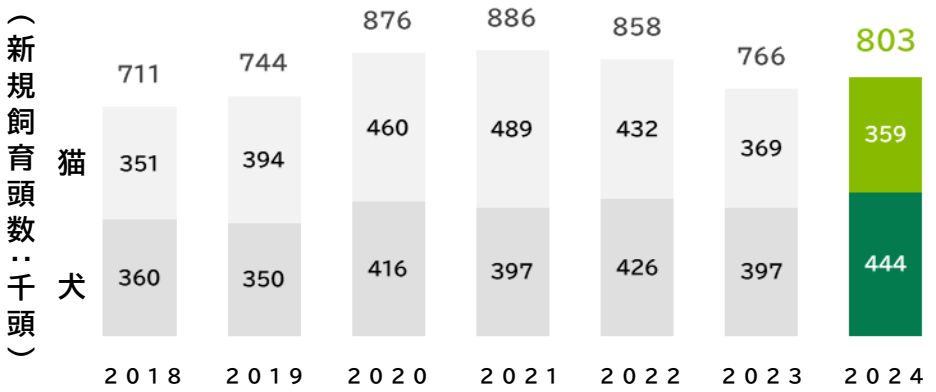
1. 市場環境

(1)ペット関連市場の推移

- ●ペット産業全体の市場規模は引き続き拡大
- ●プレミアム指向による高品質・高価格商品の需要増加を背景に、量的拡大から質的向上へ
- ●コロナ禍以降の総飼育頭数は横這い、犬猫共に直近の新規飼育頭数は下げ止まり傾向



出典:㈱矢野経済 ペットビジネスマーケティング総覧
出典:一般社団法人 日本ペットフード協会
※出典元の推計方法変更等により、過去公表の推計値と差異がございます。



出典:一般社団法人 日本ペットフード協会

ブランド力と差別化されたビジネスモデルが選ばれる時代へ

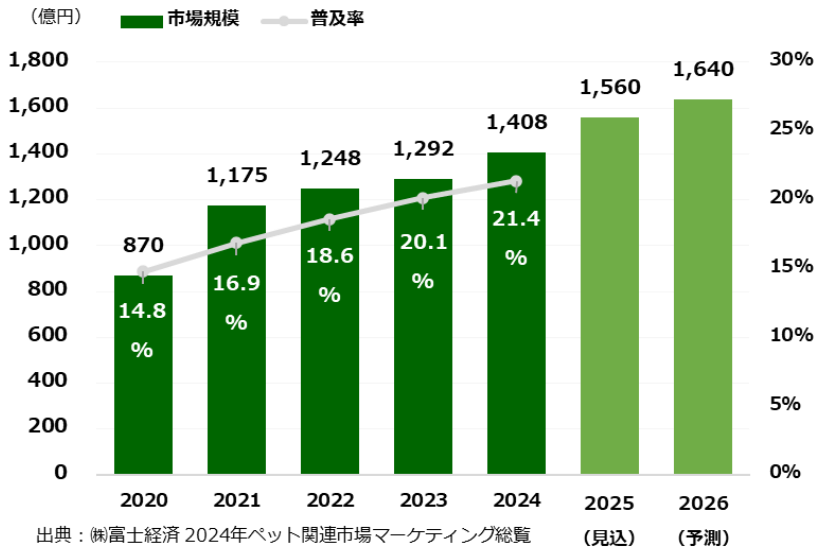
Copyright © Anicom Holdings,Inc. All Rights Reserved

1. 市場環境

(2)ペット保険市場の推移

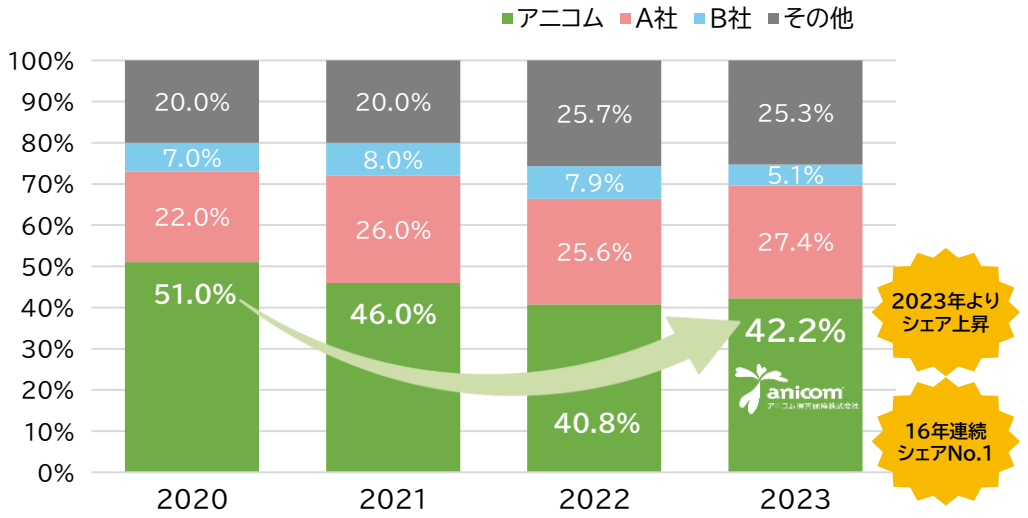
- ●ペットの長寿化や動物医療の高度化、インフレの影響などで、ペット保険に関心が集まる
- ●大手生損保や異業種の新規参入で市場の開拓が進み、ペット保険の普及率は上昇
- ●競争激化や損害率上昇により、ネット型保険の事業撤退が相次ぎ、合従連衡が進行する

ペット保険の市場規模



出典：㈱富士経済 2024年ペット関連市場マーケティング総覧

ペット保険の各社シェア推移 (保険料ベース(概算))



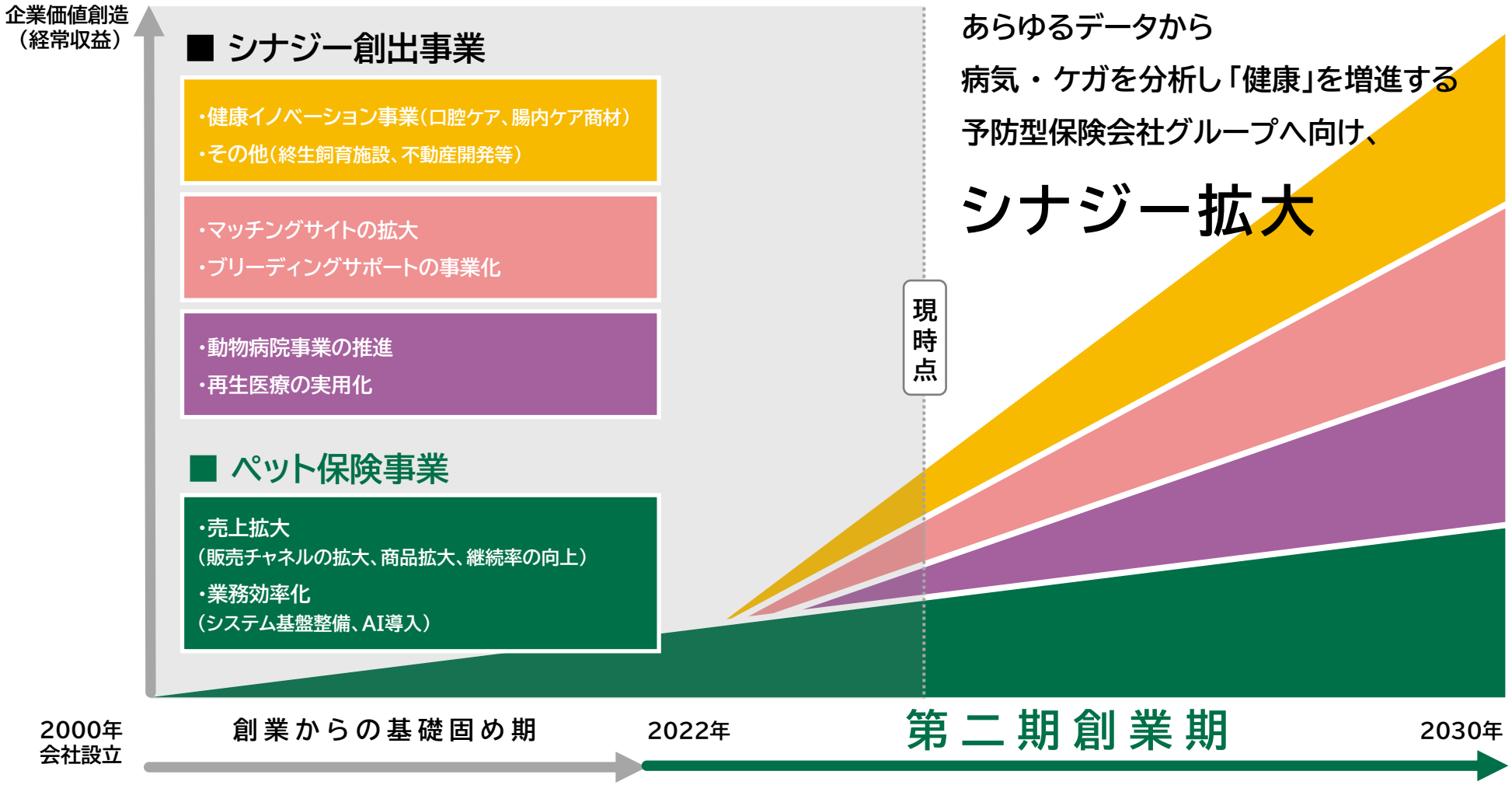
2023年度各社のディスクロージャー誌、決算公告等から当社推計

市場の拡大を背景に、他社協業などで更なるシェアUPを見込む

Copyright © Anicom Holdings,Inc. All Rights Reserved

2. 第二期創業期の位置付けと2030年度ビジョン

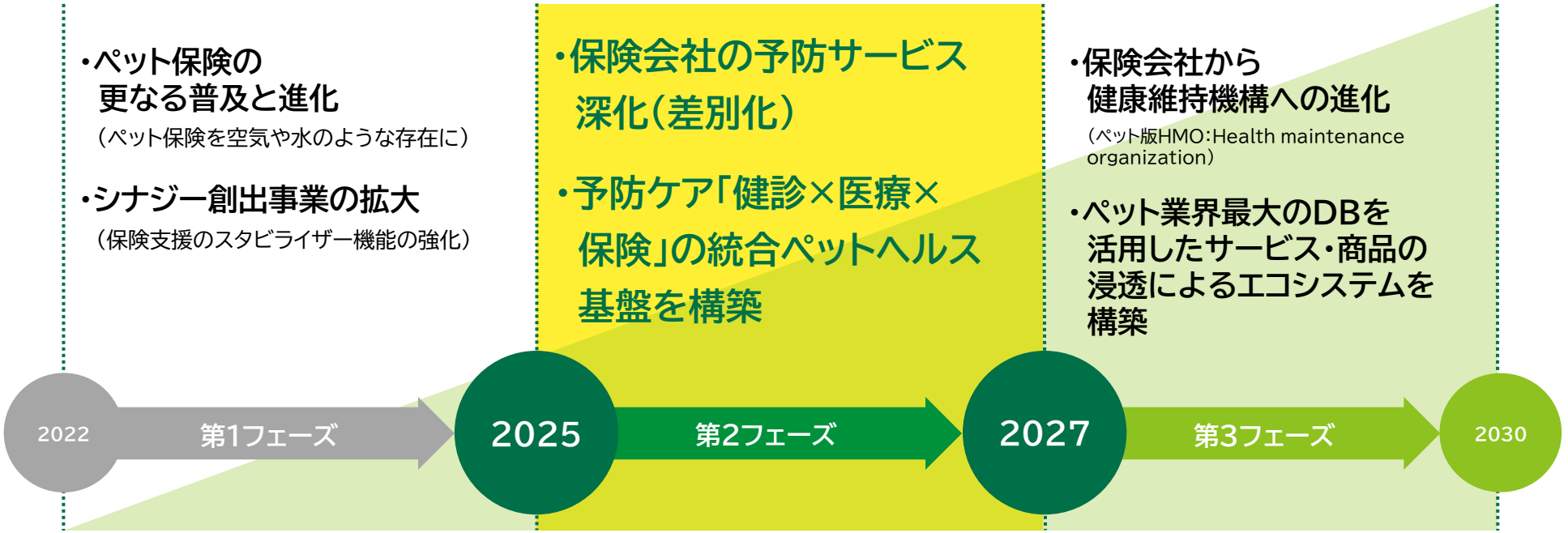
●ペット保険事業とシナジー創出事業の両輪で、新たな企業価値を創り出し、高成長を継続



Copyright © Anicom Holdings,Inc. All Rights Reserved

2. 第二期創業期の位置付けと2030年度ビジョン

●2030年度の第二期創業期完了を見据えた経営ビジョン実現への第2フェーズと位置付け



2030年度ビジョンの実現へ

どうぶつ業界における川上から川下までを

発展的に繋ぐインフラプレーヤーとして無限大の価値を社会に提供する

Copyright © Anicom Holdings,Inc. All Rights Reserved

3. 保険会社における経営の健全性を脅かす主要なリスク

●対策を要する主要なリスクについて

リスク濃縮

事故リスクの高い人ほど保険に加入し、また、実際に保険を利用した人ほど契約を継続する傾向があるため、高リスクの契約者が保険ポートフォリオ内に集中し、保険会社の損失リスクが増大する。

保有契約の高齢化

高齢になるほど損害率が高くなる保険料体系の場合、若齢の新規契約数を伸ばし続けない限り、保有契約が高齢化し、保険会社の収益を圧迫する。

医療費のインフレ

医療技術（手術等）や検査機器（MRI・CT等）の発展による医療費の上昇に伴い、保険金が増加し、保険会社の収益を直接圧迫する。

アニコムグループは、上記の3リスクについて

”主要なリスク”と位置づけ、対応策を実施していく

Copyright © Anicom Holdings,Inc. All Rights Reserved

4. 主要なリスクへの対応策（総論）

●以下、2本の柱にて、主要なリスクに対応

（1）予防型保険の実現

予防サービスの強化によって「入って健康になる保険」を実現し、保険の本質的な価値を向上させるとともに、保険金を抑え保険引受収益の構造を変革する。
独自サービスを強化し、ペット保険の差別化を明確にする。

（2）先進医療の開拓と知財化

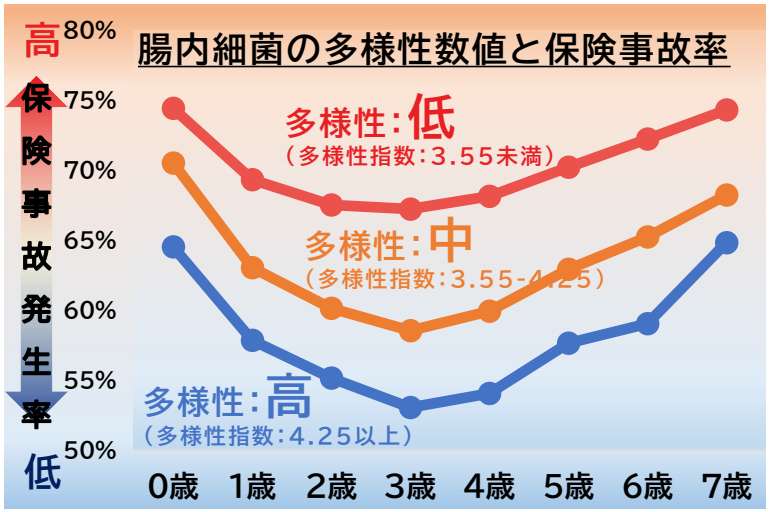
「ロボット手術」をはじめとした次世代の先進医療技術や幹細胞による再生医療の薬事承認を、どこよりも早く実現するとともに技術を知財化し、動物医療の発展に寄与する。また、高度医療の標準化を通じて、医療費のインフレを抑制する。

Copyright © Anicom Holdings,Inc. All Rights Reserved

5. 主要なリスクへの対応策(各論)

(1)予防型保険の実現

予防サービスによって、健康でも継続したい保険へ



免疫の可視化(健診)

予防ビジネスが難しい理由の一つとして、「病気」は見えるが「健康」は見えないということが挙げられる。健診(腸内細菌叢検査)によって、「免疫」すなわち「健康度」を可視化し、健康維持のモチベーションを高めるとともに、予防に向けたアプローチを実施していく。

適切な「口腔ケア」と「腸内免疫ケア」

腸内細菌叢の多様性低下を防ぐためには、多様な食事をとることに加え、悪玉菌の侵入を許さないことが重要である。

悪玉菌の代表格は歯周病関連菌であり、口腔ケアによりこれらの侵入を防ぐとともに、多様な食事を提案することで予防を実現していく。

Copyright © Anicom Holdings,Inc. All Rights Reserved

5. 主要なリスクへの対応策（各論）

（2）先進医療の開拓と知財化

先進医療の推進と普及

ヘルスケアやエイジングケアは、ヒトにおいてもまだまだ成長が見込まれる領域。保険会社の動物医療ビッグデータと、ヒト分野での再生医療等の先進的な知見を活用し、診断の高度化や新たな治療法の開発を進める。

高度医療技術の標準化

高度な診断や手術を支援するAI診断やロボット手術への積極投資により、高度医療の知財を確保しつつ、医療費の標準化・適正化を進める。

【参考】
ロボット手術を含む最先端の高度獣医療を提供する動物病院
『JARVISどうぶつ医療センター Tokyo』
▸5月9日付ニュースリリース
https://www.anicom-sompo.co.jp/newsrelease/2025/20250509/

ロボット手術含めた高度医療や、先進研究により得られた知見により、
高齢化または医療費のインフレに伴うリスクを軽減する。

Copyright © Anicom Holdings,Inc. All Rights Reserved

5. 主要なリスクへの対応策（各論）

【参考】獲得免疫の健全化によるがん等の疾患予防の実現および企業価値創出戦略について

犬60万頭・猫22万頭の腸内細菌叢データと、年間400万件超の保険金支払実績。これら世界最大規模のデータを解析することで、がん等の疾患予防の可能性が見えてきた。「慢性微小炎症」と「獲得免疫」に着目した新たな理論により、「ずっと一緒にいたい」という全ての飼い主様の願いを叶えるとともに、企業価値の新たな創出に挑む。

獲得免疫の健全化によるがん等の疾患予防の実現と企業価値創出戦略について

アニコムグループ（親会社：アニコム ホールディングス株式会社、代表取締役　小森 伸昭）では、保険・医療に関するビッグデータの分析を通じ、獲得免疫のバランスと疾患発症リスクとの関係性を明らかにすることで、予防医療の推進による健康寿命延伸の実現といった企業価値向上を目指しています。これらの取り組みについて、「獲得免疫の最適化による疾患予防と企業価値向上について」と題して公表いたします。

▶獲得免疫の最適化による疾患予防と企業価値向上について

https://www.anicom.co.jp/news-release/2025/20250509/

Copyright © Anicom Holdings

6. サステナビリティ経営の実現

(1)ペット業界で対応可能な社会的課題

大きく4つの社会的課題がペット業界で対応可能

Traceability（透明性）	Health（健康・医療）	Environment（共生・環境）	Well-being（幸福 福祉 健全性）
サプライチェーンにおける課題	ペットの健康問題や医療体制の課題	共生環境・自然環境の課題	動物福祉における課題
・不透明なブリーディング環境 ・トレーサビリティの断絶 ・繁殖引退どうぶつ ・遺伝病	・標準診療が未成熟 ・医療体制の未整備	・ペットとの共生環境の不足 ・ペットフードによる環境負荷	・劣悪な飼育環境 ・長時間の留守による孤独 ・高齢者等の飼育困難 ・動物虐待、遺棄、殺処分

Copyright © Anicom Holdings,Inc. All Rights Reserved

6. サステナビリティ経営の実現

(2)社会的課題の解決とアニコムグループ事業との関係

ペット業界全体の発展との連動性と寄与度を評価し、
マテリアリティ(重要課題)を決定

Copyright © Anicom Holdings,Inc. All Rights Reserved

6. サステナビリティ経営の実現

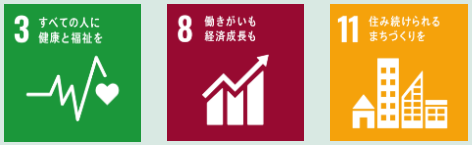
(3)アニコムのマテリアリティ(重要課題)

ペット

- 心と身体の健康
- サプライチェーンの透明性
- ペットの地位向上

人

- 生きがいの提供
- 地域活性化への貢献
- 教育機会の公平化
- 社会機能の強化
- 健康とウェルビーイング



環境

- 気候変動への対応
- 生物多様性の保全

【課題解決に向けた各数値目標】

一人一特許戦略	高齢者・障がい者・子どもふれあいイベント	高齢者・障がい者雇用サポート	子ども教育サポート（動物病院体験等の参加者数）
発明者数100人超	20回／年	順次開始（実績について随時公表）	100名／年

Copyright © Anicom Holdings,Inc. All Rights Reserved

6. サステナビリティ経営の実現

(4)バリューチェーンにおけるアニコムのCSV活動（ESG／SDGs対応）

	誕生	お迎え	生活	お別れ
具体的取り組み	**遺伝子検査** 遺伝病撲滅と健康な生体の流通 **ブリーディングサポート** 動物福祉、環境負荷減、動愛法遵守	**みんなのブリーダー** ペット流通の透明性確保 **里親マッチング（hugU）** やむを得ない事情の飼い主を支援	**腸内フローラ測定** 病気の早期発見と健康管理 **地産地消フード** 環境負荷の少ないフードの開発 **ペット保険** 獣医療の適切な提供 **個体識別** 迷子による殺処分ゼロ **しつけ教室** 飼育ハードル減少、遺棄防止	**再生医療／細胞治療** ”治らない“を治し、健康寿命延伸 **老犬ホーム** 高齢犬の介護負担を軽減 **終生飼養施設** 飼い主がいないペットの受け皿提供
地域社会との関連	**自治体との連携** 動物愛護啓発や殺処分ゼロ、防災等の連携 **アニマルセラピー** ふれあい機会を提供し、人の健康寿命を延伸	**ペット共生グループホーム** 高齢者・障がい者の孤独や不安の解消 **ペット共生住宅** ペットと暮らせる住宅の提供 **子ども教育サポート** 命の輝きに直に触れることで、学びのモチベーションアップへ	**高齢者／障がい者雇用** ブリーディング施設での雇用と働きがい創出 **平和への貢献** 無償の愛の伝達による平和への貢献	

環境に配慮した経営（TCFD対応）

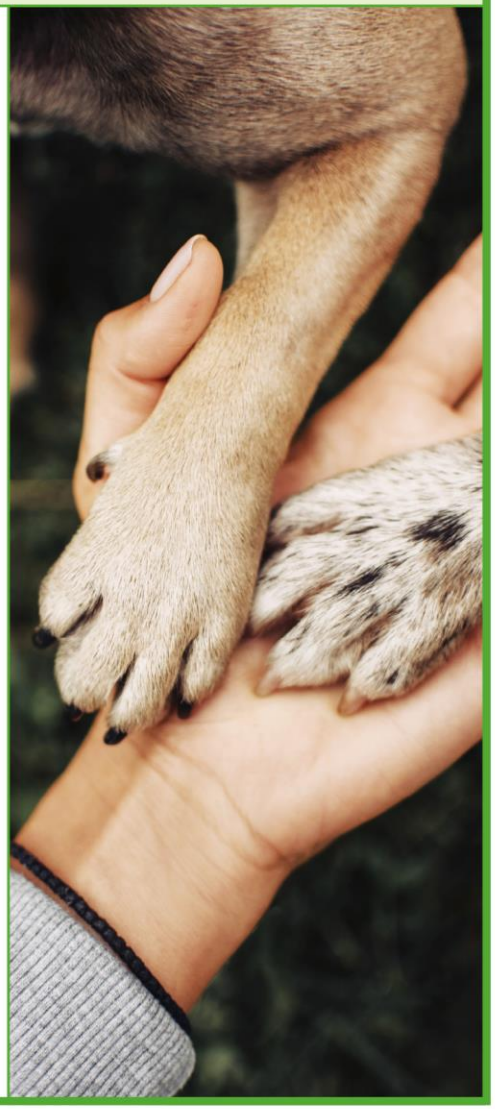
価値創造を支える基盤

「ERM態勢整備」「コンプライアンス」「情報セキュリティ」「人事・組織管理」「内部監査」「危機管理体制強化」

Copyright © Anicom Holdings,Inc. All Rights Reserved

3 中期経営計画2025-2027の具体的目標

1. 主要経営数値目標（連結）
2. 資本政策
3. 基本戦略の概要
4. セグメント変更と主要KPI



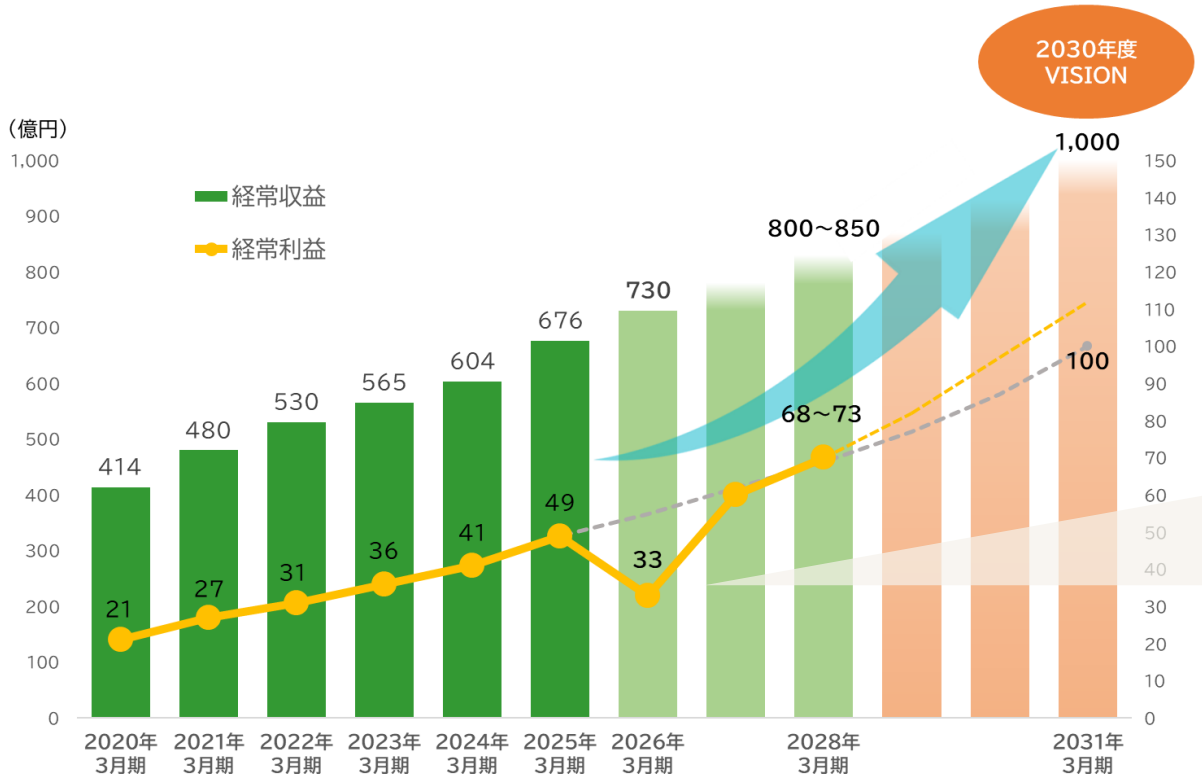
1. 主要経営数値目標(連結)

●経営数値目標

予防型保険実現のための先行投資を実施し、中長期的には更なる利益成長を目指す

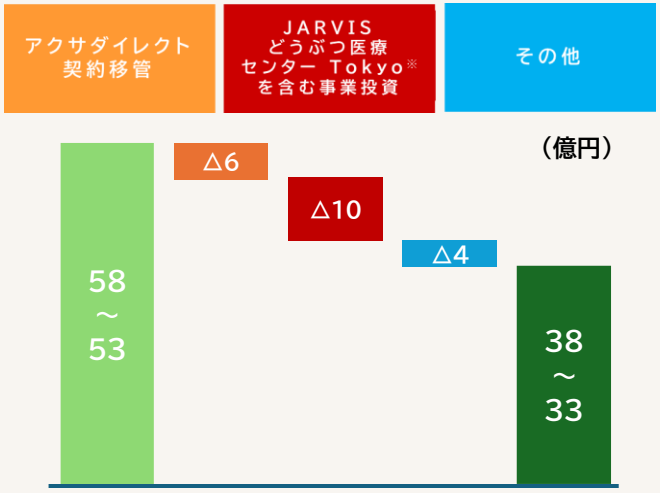
2028年3月期 経営数値目標

連結経常収益	連結経常利益	連結ROE
800～850億円	68～73億円	12%水準



【2026年3月期の主な損益影響】

- 左図でグレーの破線で示されている成長曲線に対する影響は以下の通り



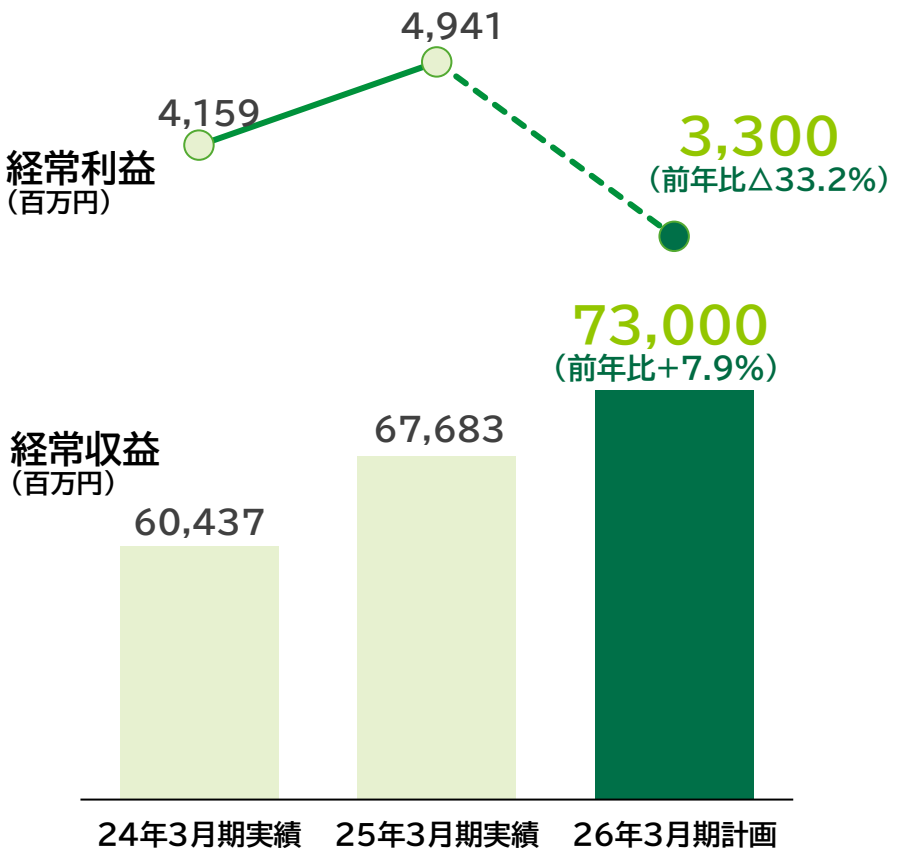
※ロボット手術を含む最先端の高度獣医療を提供する動物病院
▸5月9日付ニュースリリース
https://www.anicom-sompo.co.jp/newsrelease/2025/20250509/

Copyright © Anicom Holdings,Inc. All Rights Reserved

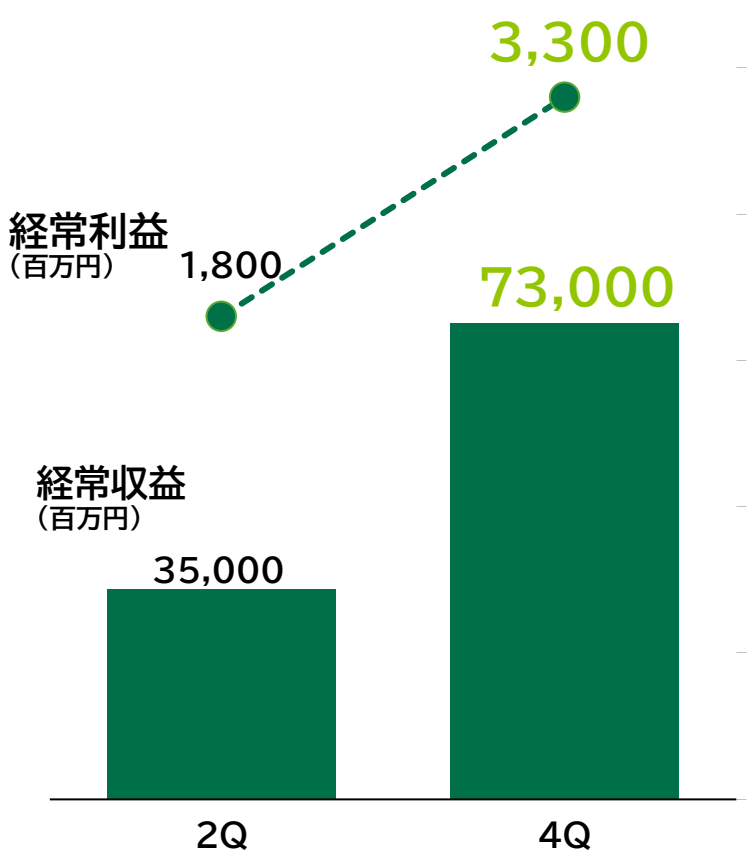
1. 主要経営数値目標(連結)

●2026年3月期　損益計画（年間・半期累計）

年間計画



半期累計計画

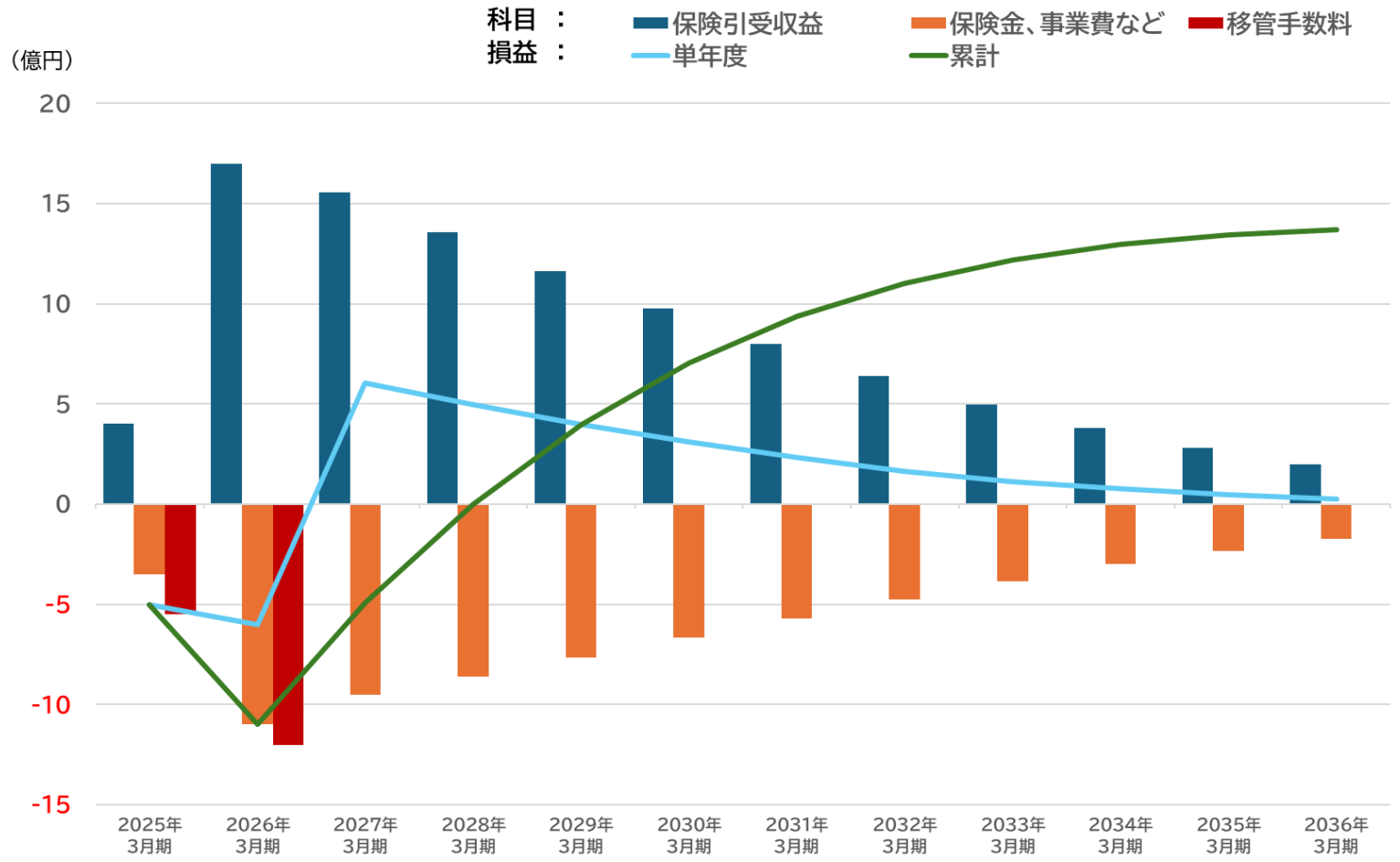


Copyright © Anicom Holdings,Inc. All Rights Reserved

1. 主要経営数値目標(連結)

【参考】アクサダイレクト契約移管に伴う中長期の損益影響イメージ

本中期経営計画期間内に損益がプラスに転じ、それ以降も利益が累積する見込み



Copyright © Anicom Holdings,Inc. All Rights Reserved

2. 資本政策

(1)基本方針

ESRを適正水準に保ちつつ、『成長投資』、『基盤強化』、『株主還元』の最適なバランスを目指す

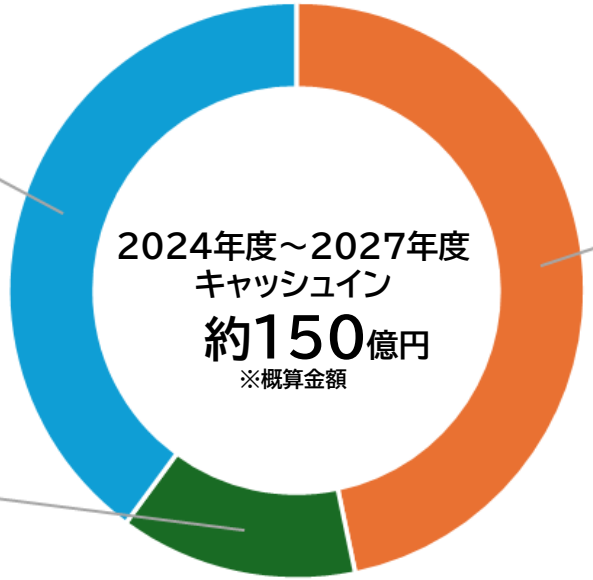
キャッシュアロケーション

配当
配当性向30%水準
継続的な増配を目指す

自己株式取得
機動的な実施を検討

人的資本
専門人材獲得
DX人材育成

業務効率化
AI導入
システム刷新



M&A
動物病院の事業承継

事業拠点
JARVISどうぶつ医療センター Tokyo※

R&D
健康ケア商材の新規開発

【ESRの影響】
・責任準備金などの資産および負債を、経済価値ベースで評価する新たな法規制
・従来の「その他保険」から、リスク係数の低い「ペット保険」への区分変更
・余剰資本の活用を検討

※ロボット手術を含む最先端の高度獣医療を提供する動物病院
▸5月9日付ニュースリリース
https://www.anicom-sompo.co.jp/newsrelease/2025/20250509/

Copyright © Anicom Holdings,Inc. All Rights Reserved

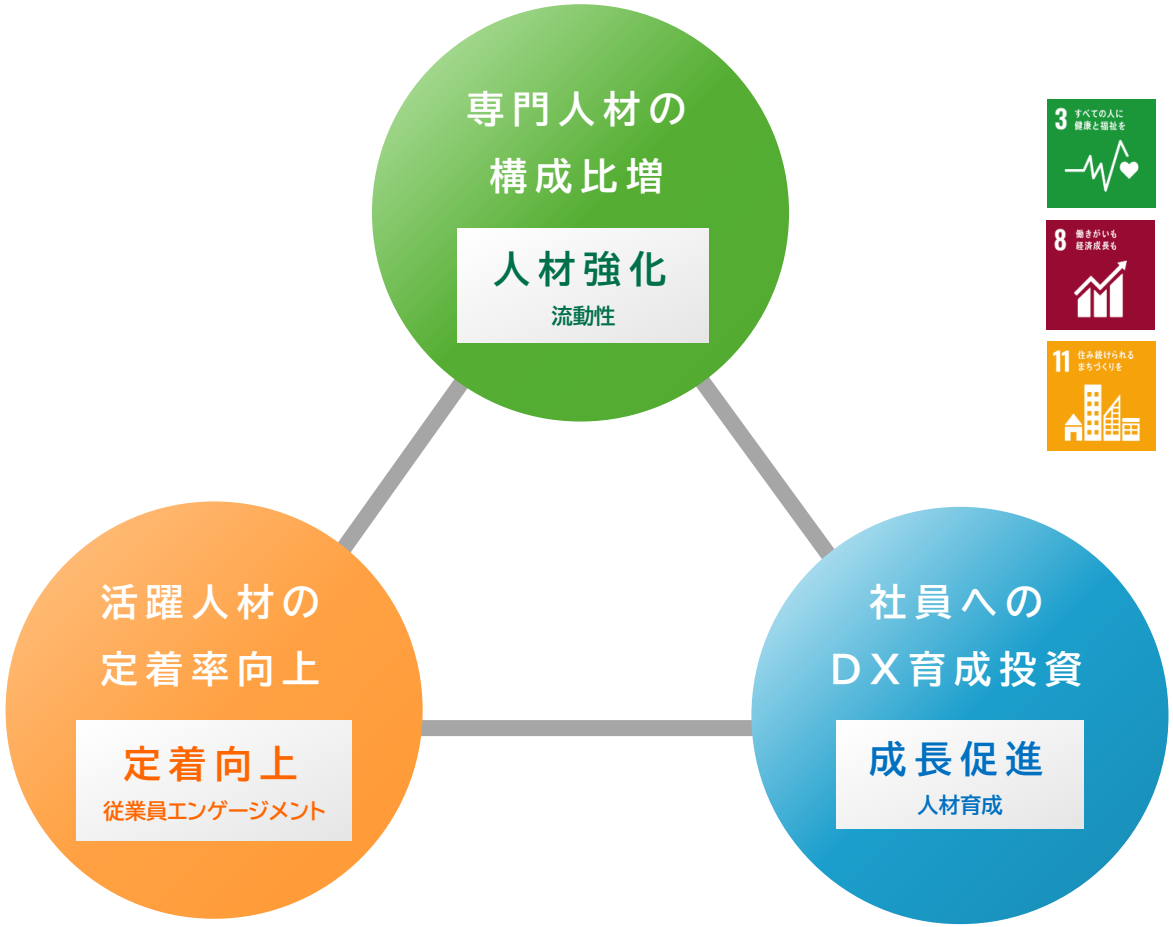
2. 資本政策

(2)人的資本政策

戦略を創出し実現する人材が、つながり、育つ組織に。未来を見据えた基盤強化を図る。

中期経営計画
2025-2027
「2本の柱」

- 予防型保険の実現
- 先進医療の開拓と知財化



Copyright © Anicom Holdings,Inc. All Rights Reserved

(2)人的資本政策

中期経営計画2022-2024から、基盤強化における重点政策として継続推進する指標

人的資本可視化指針	No.	人的資本KPI	2022年度実績	2023年度実績	2024年度実績	2030年度目標
流動性	5	自発的離職率	11.8%	13.4%	14.9%	10%
人材育成	9	発明者数(年間)	37名	24名	17名	60名
-	11	子ども教育サポート	-	12名	16名	100名

重点的継続推進の指標

自発的離職率 10%
長期的な育成と活躍を促進することで、
企業価値の持続的な成長を目指す

発明者数(年間) 60名
社会を豊かにする社会学的な子孫を残し、
社員個々人の貢献に意味を成す人材戦略を推進する

子ども教育サポート 100名
子どもたちに先進的な取組みを体験する機会を提供し、
ペットとの共存社会の発展に貢献していく

全社員一人一特許戦略

◆「全社員一人一特許戦略」の推進
2025年3月末 発明者数144名(2024年度 発明者数17名)

【分野別 特許保有件数】※2025年3月末時点

	画像認識AI	遺伝子 フード 腸内フローラ	再生医療	その他	合計
特許保有件数 (2024年度登録件数)	9 (+2)	8 (+2)	2	3	22 (+4)

2024年度 特許登録4件の名称

特許第7503041号
「保険料算出システム及び保険料算出方法」

特許第7559010号
「フード提案システム及びフード提案方法」

特許第7602893号
「イヌ白内障の検査方法、イヌ白内障の検査をするための試薬、及びイヌ白内障の検査キット」

特許第7636958号
「カットスタイル判定システム及びカットスタイル判定方法」

Copyright © Anicom Holdings,Inc. All Rights Reserved

2. 資本政策

(2)人的資本政策

中期経営計画2025-2027から、基盤強化における重点政策として新たに推進する指標

予防型保険の実現
高度医療の開拓と知財化

専門人材の構成比増
活躍人材の定着率向上

社員へのDX育成投資

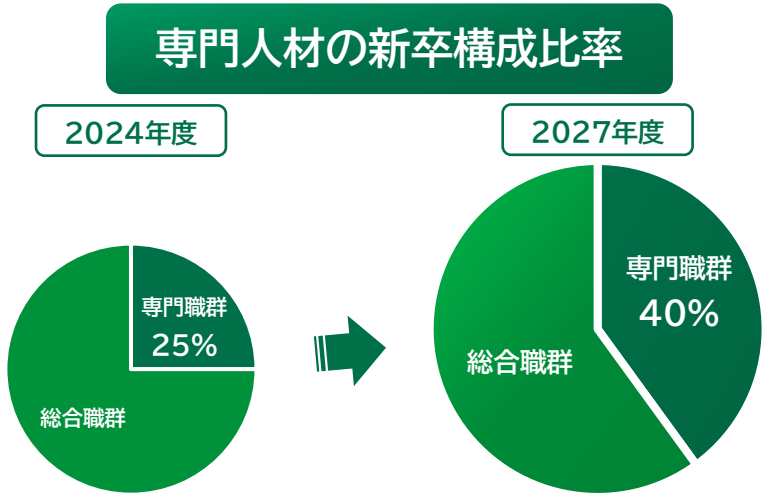
重点的新規推進の指標

専門人材の新卒構成比率
「予防型保険の実現」と「高度医療の開拓と知財化」、中計戦略実行に向けて専門人材の構成比を高めていく

エンゲージメントスコア
社員の意欲や組織の状態を客観的かつ定量的に示し、企業価値を継続的に向上させる非財務指標とする

健康経営優良法人認定
社員の健康を生産性、創造性、働きがいの基盤とし、健康経営への投資で企業の持続的な成長に貢献する

専門人材の新卒構成比率



人的資本戦略カテゴリー	No.	人事戦略KPI	2024年度末	2027年度	計測頻度
人材強化	1	専門人材の新規学卒者採用構成比率	25%	40%	年次
定着向上	3	エンゲージメントスコア	-	※内部指標	半期
定着向上	6	健康経営優良法人認定	-	取得	可否

Copyright © Anicom Holdings,Inc. All Rights Reserved

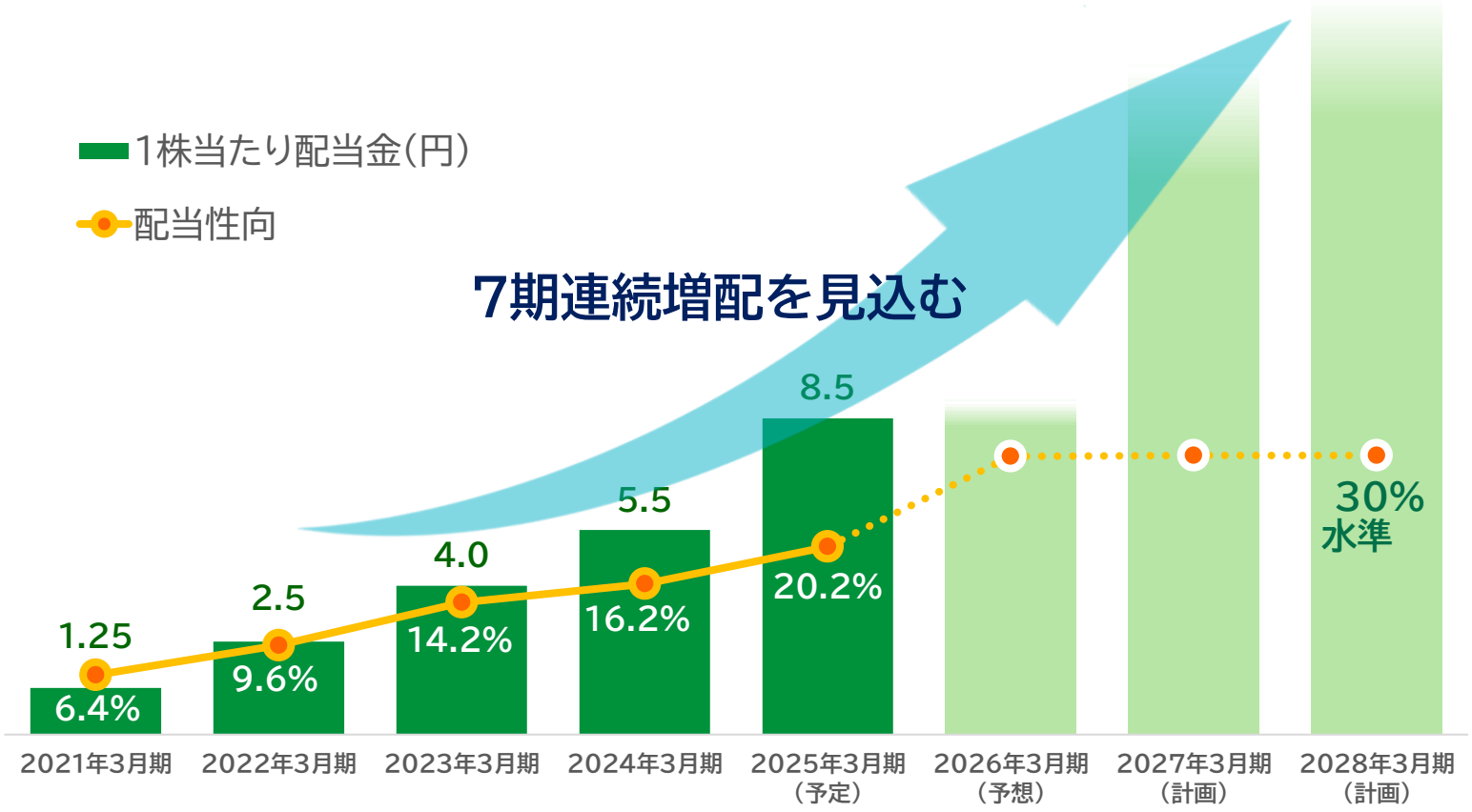
2. 資本政策

(3)株主還元

株主還元は配当を基本としつつ、自己株式取得も機動的に実施

配当性向30%水準
利益成長に応じて持続的な向上を目指す

自社株式取得
業績と資本の状況、株価水準、成長投資機会等を勘案して決定



Copyright © Anicom Holdings,Inc. All Rights Reserved

3. 基本戦略の概要

どうぶつの一生を豊かで健康にする為の「入って健康になる保険」を実現

強みの『ペット保険事業』

- 予防型保険アニコムの独自性を追求し差別化
- 窓口精算システムによる
  高い顧客利便性と業務効率
- 全国をカバーする営業力と多様な販売チャネル
- 豊富なデータの解析による新たな
  健康延伸サービス等の価値創出
- 多様な専門人材の積極的な登用

anicom
アニコム損害保険株式会社

外部環境

- コロナ禍における特需的な飼育需要は落ち着きを見せるが、引き続き堅調
- 大手企業等の相次ぐペット保険業界への参入
- 動愛法規制強化後、ブリーダーとペットショップの業態融合による
  流通革命の加速
- 動物病院の通院頻度の増加と診療費単価の上昇

どうぶつのライフステージに寄り添った『シナジー創出事業』

川上

- ブリーディング事業
- マッチングサービス事業

Flowens
SIMNET

川中

- 腸内細菌叢検査事業
- 健康イノベーション事業

anicom
アニコム パフェ株式会社

川下

- 動物病院事業
- 高度医療事業

anicom
アニコム先進医療研究所株式会社

社会的価値と経済的価値の両立

Copyright © Anicom Holdings,Inc. All Rights Reserved

4. セグメント変更と主要KPI

(1)セグメント変更

中期経営計画における注力事業を追加することで進捗を明確化

現行

① 損害保険事業

② ペット向けインターネットサービス事業

③ その他の事業
動物病院支援、保険代理店、動物医療分野における臨床・研究、遺伝子検査等、その他

変更後

① 損害保険事業

② ペット向けインターネットサービス事業

③ 動物病院運営事業

アニコム どうぶつ病院 グループ

④ 健康イノベーション事業
口腔ケア・腸内ケア商材の開発・販売

⑤ その他の事業
動物病院支援、保険代理店、遺伝子検査等、その他

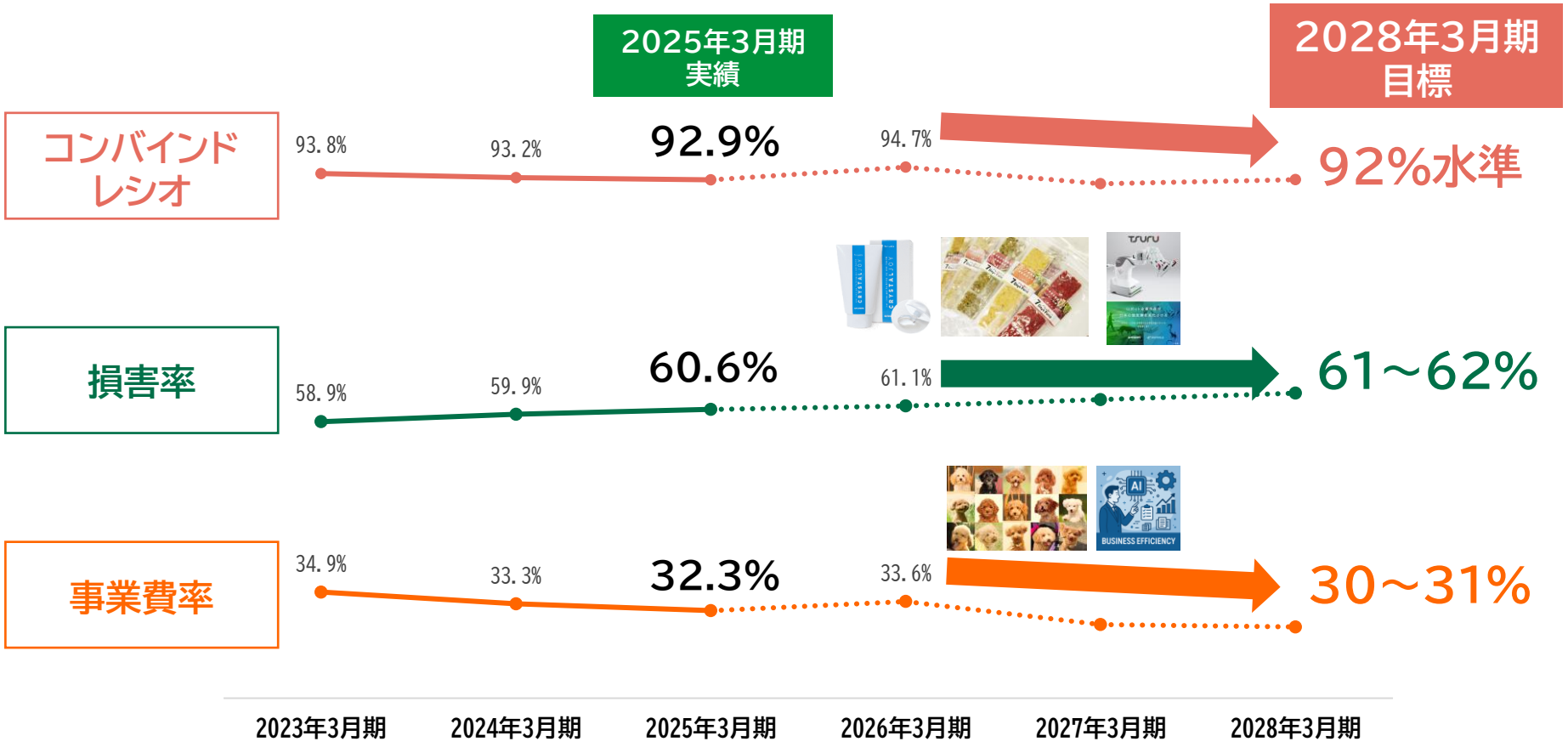
Copyright © Anicom Holdings,Inc. All Rights Reserved

4. セグメント変更と主要KPI

(2)保険事業主要KPI

2028年3月期目標は、2030年度ビジョンにむけた第2フェーズとしての位置付け

販売チャネルの更なる拡大、予防のためのソリューション提供、AIを活用した効率的な業務運営によって、
損害率・事業費率を適切にコントロールし、保険事業の安定的な成長を実現する。



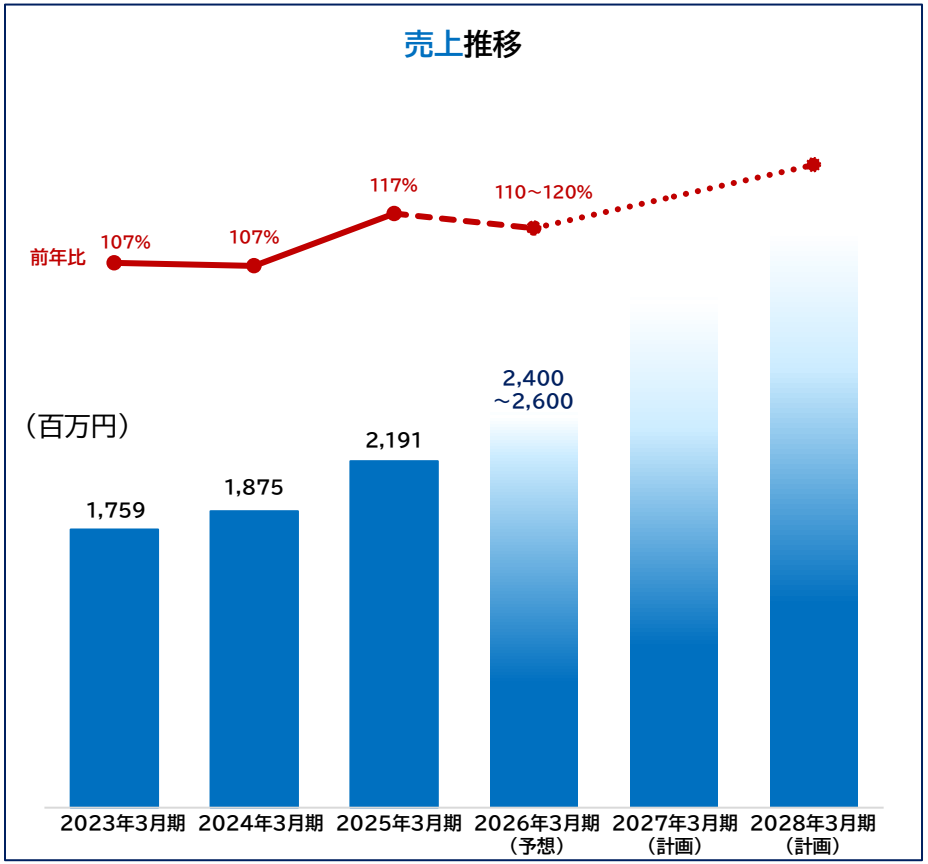
Copyright © Anicom Holdings,Inc. All Rights Reserved

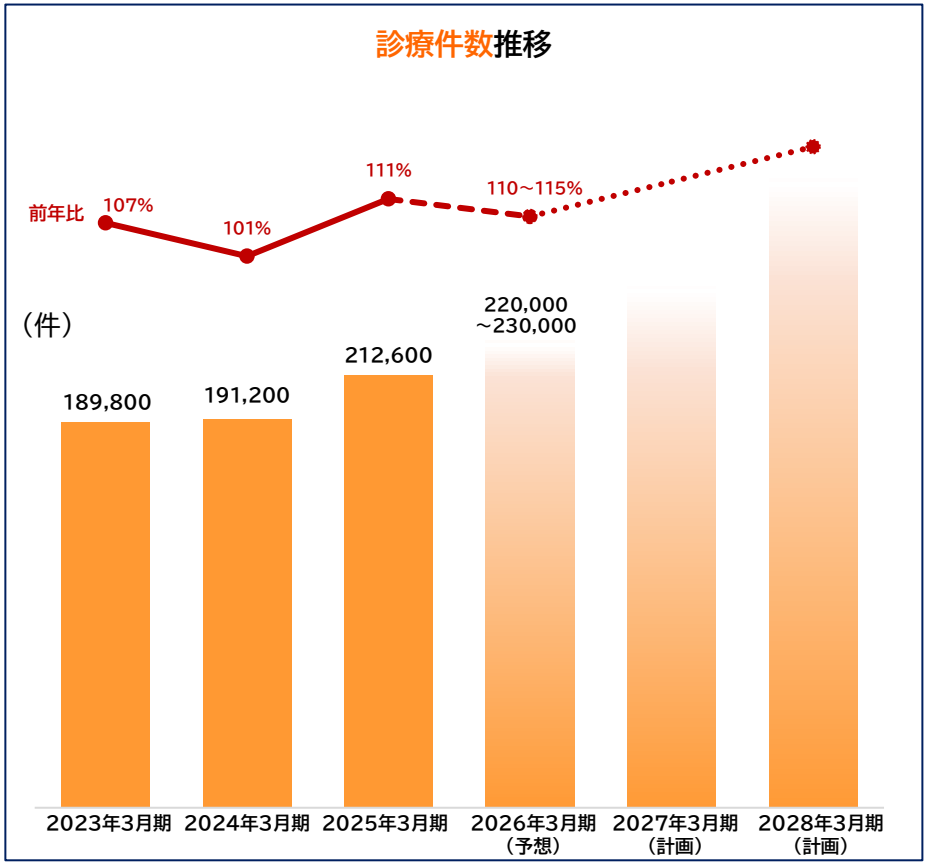
4. セグメント変更と主要KPI

（3）動物病院運営事業の主要KPI

グループ病院の売上および診療件数の推移を明示。今後も定期的な情報公開を予定。

グループ病院の売上は堅調な推移。2026年3月期以降は、品川に新規開業する大型病院によるさらなる売上増加を見込む。
併せて、売上に係るKPIとして診療件数についても開示。





Copyright © Anicom Holdings,Inc. All Rights Reserved

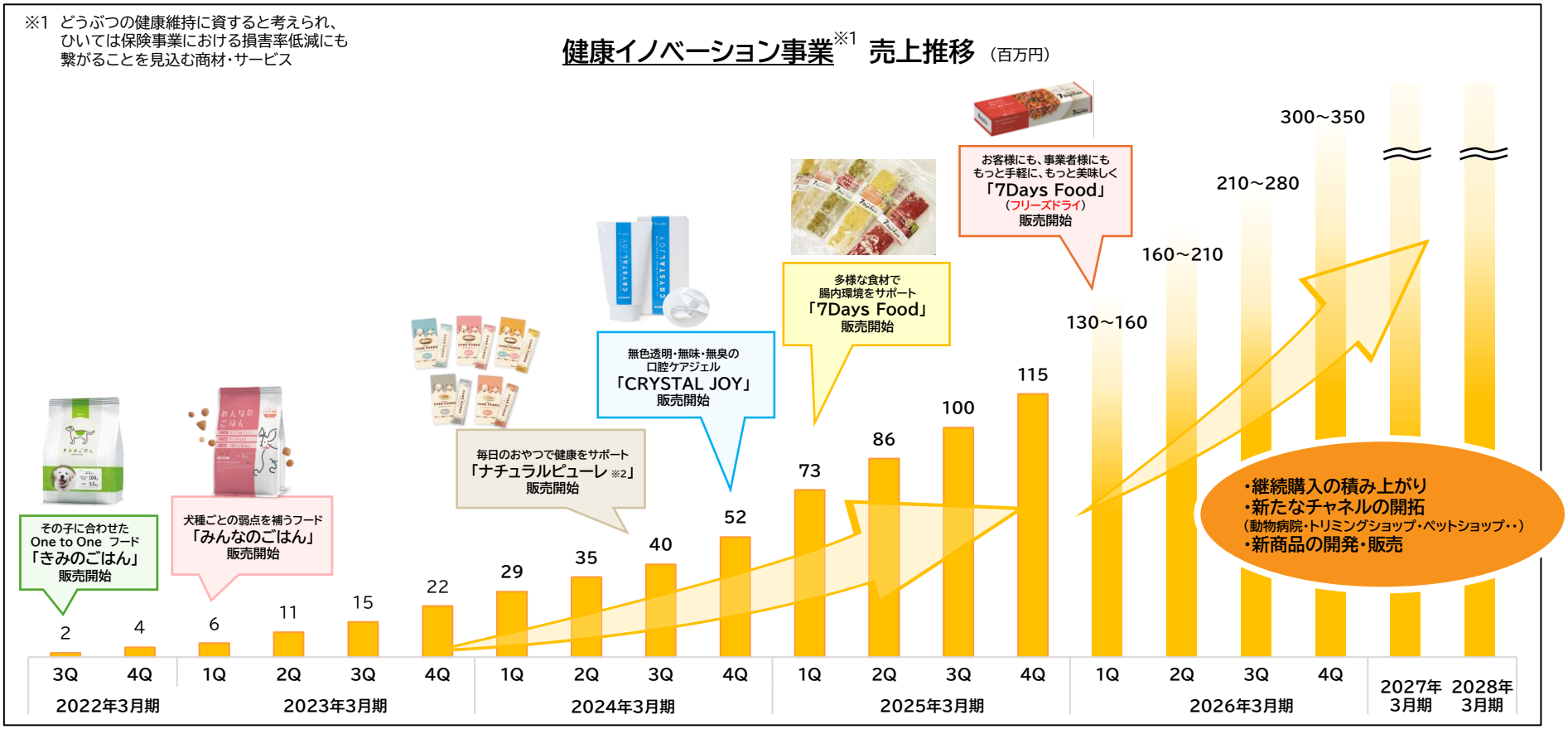
4. セグメント変更と主要KPI

(4)健康イノベーション事業の主要KPI

商材・サービスの売上推移を明示。今後も定期的な情報公開を予定。

2021年にドライフード「きみのごはん」を販売して以降、どうぶつの健康増進に向けた商材を展開。販売開始以降、毎年前年比2倍以上の成長を続けており、2025年3月期は3.5億円を超える売上。2026年3月期は8～10億円の売上を見込む。

※1 どうぶつの健康維持に資すると考えられ、ひいては保険事業における損害率低減にも繋がることを見込む商材・サービス



※2 現在は販売終了しており、「CARE PUREE」としてリニューアル。

Copyright © Anicom Holdings,Inc. All Rights Reserved

4 APPENDIX

1. グループ全体像と沿革

2. 用語の説明

1. グループ全体像と沿革

子会社の経営管理事業

資本金:8,202百万円
設立:2000年7月

損害保険業｜ペット保険
資本金:6,550百万円
設立:2006年1月

動物病院支援事業
資本金:50百万円
設立:2004年12月

動物医療の臨床・研究
資本金:50百万円
設立:2014年1月

ペット関連ネットサービス
資本金:100百万円
設立:2001年3月
子会社化:2020年1月

ブリーディング事業
資本金:100百万円
設立:2020年4月
子会社化:2024年3月

2000年 4月	任意組合として anicom(どうぶつ健康促進クラブ)設立
2000年 7月	anicomから「どうぶつ健保」事務受託会社として㈱ビーエスピー設立
	(2005年1月にアニコム インターナショナル㈱に、2008年6月に
	アニコム ホールディングス㈱に、それぞれ商号変更)
2004年12月	アニコム パフェ㈱設立
2005年 2月	アニコム フロンティア㈱設立
2006年 1月	保険会社設立準備のため、アニコムインシュランスプランニング㈱設立
	(2007年12月にアニコム損害保険㈱に商号変更)
2007年12月	アニコム損害保険㈱が損害保険業免許を取得
	アニコム インターナショナル㈱が保険持株会社としての認可取得
2008年 1月	アニコム損保㈱がペット保険の販売を開始
2008年 4月	アニコム損保㈱がペット保険の補償を開始
2009年11月	「家庭どうぶつ白書」発刊(以降、毎年発刊)
2010年 3月	アニコム ホールディングス㈱が東証マザーズ上場(証券コード:8715)
2014年 1月	日本どうぶつ先進医療研究所㈱(現「アニコム先進医療研究所㈱」)設立
2014年 6月	アニコム ホールディングス㈱が東証一部に市場変更
2015年 7月	アニコム キャピタル㈱設立
2016年 4月	当社49%、富士フイルム㈱51%出資の動物の再生医療に関する合弁事業
	として、セルトラスト・アニマル・セラピューティクス㈱を設立
2017年 3月	当社49%出資の中国における動物医療に関する合弁事業として、香港愛你康
	有限公司を設立
2020年 1月	株式会社シムネットの全株式を取得し、完全子会社化
2021年 3月	富士フイルム㈱との合弁契約を解消し、セルトラスト・アニマル・セラピューティクス㈱
	の事業をアニコム先進医療研究所㈱にて承継
	アニコム キャピタル㈱を解散
2022年 2月	Hong Kong Anicom Company Limited(香港愛你康有限公司)の
	増資引き受けを行い子会社化
2022年 4月	東京証券取引所の市場区分の見直しにより、市場第一部からプライム市場に移行
2022年10月	アニコム パフェ株式会社がアニコム フロンティア株式会社を吸収合併
2024年 3月	株式会社フローエンスの株式を取得し、連結子会社化

Copyright © Anicom Holdings,Inc. All Rights Reserved

2. 用語の説明

■保険用語について

- **保険料**……被保険者の被る危険を保険会社が負担する対価として、保険契約者が保険会社に支払う金銭。
- **保険金**……保険事故により損害が生じた場合に、保険会社が被保険者に支払う金銭。
- **事業費**……保険会社の事業上の経費で、営業費、一般管理費、諸手数料及び集金費を総称したもの。
- **損害率**……保険金の保険料に対する比率。当資料では、発生保険金の既経過保険料に対する比率で表示し、損害調査費を含む数字で記載。
- **事業費率**……事業費の保険料に対する比率。当資料では、損保事業に関わる事業費の既経過保険料に対する比率で表示。
- **コンバインド・レシオ**……「損害率」と「事業費率」を合算した数値。100%以下であれば、損害保険会社の収入が支出を上回っていることを示す。
- **ソルベンシーマージン比率**……通常の予測を超えて発生しうる危険に対する、資本金・準備金等の支払余力の割合を示す。
- **異常危険準備金**……巨大災害の発生に備えて、損害保険会社が保険料の一定割合を積み立てる準備金。
- **継続率**……前年契約件数に対する継続契約件数の比率。
- **アンダーライティング**……保険の引受けにあたり、危険の選択、引受条件、料率等を決定すること。

■ペット保険に関する用語について

- **NBチャネル**……主にペットショップで販売される0歳児を対象とした当社最大のチャネル。NBはNewBornの略。
- **一般チャネル**……すでに飼育されているペットを対象にした、WEBや金融機関窓口等での販売チャネル。
- **対応病院制度**……アニコム損保と予め契約した、窓口精算システムを導入している動物病院のこと。
- **窓口精算システム**……動物病院での診療費の精算時に、自己負担分のみを支払うことにより、保険金の請求手続きが終了する仕組み。
- **付保率**……主にペットショップおいて、販売されたどうぶつのうち、ペット保険に加入したどうぶつの比率のこと。
- **普及率**……日本国内で飼育されている犬猫のうち、ペット保険に加入している犬猫の比率のこと。

Copyright © Anicom Holdings,Inc. All Rights Reserved

お問合せ先

アニコム ホールディングス株式会社
経営企画部（IR事務局）

東京都新宿区西新宿8-17-1 住友不動産新宿グランドタワー39階

www.anicom.co.jp

本資料に関する注意事項

本資料は、現在当社が入手している情報に基づいて、当社が本資料の作成時点において行った予測等を基に記載しておりますため、その正確性または完全性について、当社は何ら表明または保証するものではありません。
本資料に記載された情報は、事前に通知することなく変更されることがあります。
これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、一定のリスクや不確実性を内包しております。そのため、将来の実績が本資料に記載された見通しや予測と大きく異なる可能性がある点をご承知おきください。従いまして、将来予想に関する記述に依拠することのないようにご注意ください。新たな情報、将来の出来事やその発見に照らして、将来予想に関する記述を変更または訂正する一切の義務を当社は負いません。
なお、本資料は情報提供のみを目的としたものであり当社が発行する有価証券への投資の勧誘・募集を目的としたものではございません。